

『Beauty Salon Project』の実施

— 成果報告 —

学校名：浅野工学専門学校

所属学科 著者名：建築工学科3年 ○飯田 颯太

建築デザイン科2年 ○井口 優輔 (指導教員：山本 大貴)

1. はじめに

本プロジェクト「Beauty Salon Project」は、美容系専門学校「横浜理容美容専門学校」との教育連携プロジェクトである。本報では、上述の「Beauty Salon Project」の概要及び、最終成果物(作品)についての報告をする。

2. 「Beauty Salon Project」の概要

本プロジェクトは、美容学生が将来独立した時のことを想定し、互いの専門分野を分析・議論の上、美容院を協同制作するものである。以下プロジェクトの概要に関しては、昨年度(2022年度)のプロジェクトのプロセスを例に記す。

2-1.事例研究(ケーススタディ)

美容学生との打合せのために、事前に事例研究(ケーススタディ)を実施した。A3パネルとスタディ模型を作成し、美容院のスケールを捉えた。また、学内講評会を実施することで、お互いの情報を共有した(写真1)。



写真1 事例研究の様子

2-2.見学会・ヒアリング

異なる専門分野をもつ学校の知見を得るために、見学会を実施し、美容院における機材の種類や照明、裏動線の研究を行った。また、横浜理容美容専門学校の卒業生の経営する美容院の見学をさせていただき、現場における注意点やインテリアの工夫に関するヒアリングを実施した。さらに、美容院の設計に際して、敷地環境、客層を踏まえた条件を整理し、課題を見つけ、客観視しながらさらに良い提案となるように模索する必要があるため、内装の色合いや照明の種類、屋内から見える風景や音環境に至るまで検討し、議論した(写真2)。

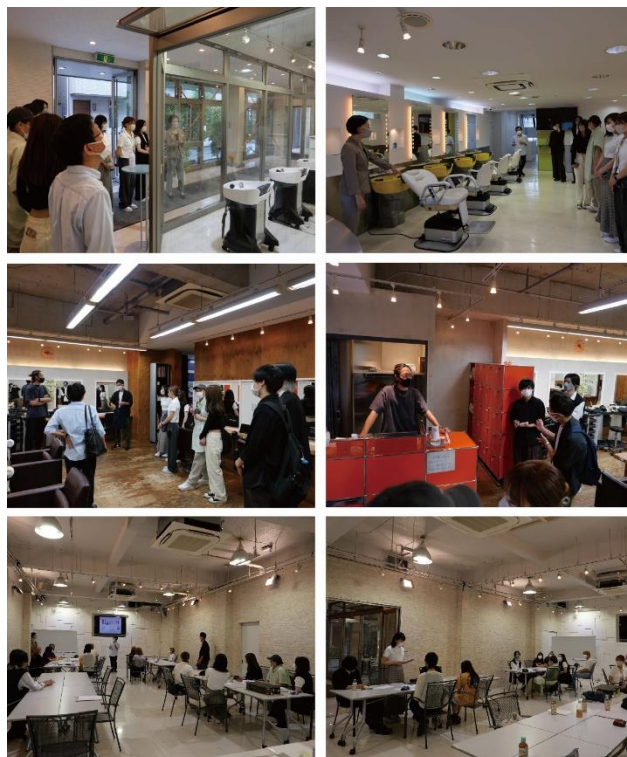


写真2 見学会・ヒアリングの様子

2-3.中間発表会

中間発表会では、今までの打合せの中で得たアイデアをまとめ、各々のスタディした作品の発表を行った。具体的に可視化された空間(スタディ案)を元に、美容院の立ち寄りやすさ、開放感や癒し効果など、顧客の求めるニーズを見直し、インテリアの整合性について再検討した(写真3)。



写真3 中間発表会の様子

2-4.最終発表会

最終発表会では、中間発表での意見交換や議論をした内容を再整理し、完成した作品のプレゼンテーションを行った。美容院における機能、顧客のニーズに対応した美容院の空間イメージをスケッチ、図面、模型、CG にして具体化した。特に平面詳細図や家具図、照明配置図を作成することによって、より実現性の高い作品を目指した。プレゼンテーションでは、何を目的にデザインしたのかを論理的に説明することを意識した(写真4)。

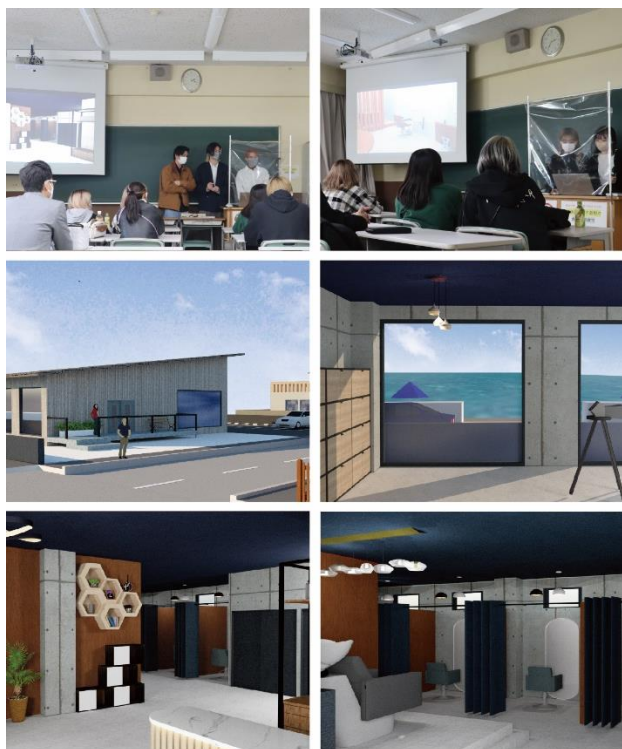


写真4 最終発表会の様子・作品のパース

3. プロジェクト実施の様子(2023年度)

本年度(2023年度)は、美容院を有する住宅(併用住宅)という課題に取り組んでいる。そのため、美容院のデザインの検討をすることと同時に居住者の生活スタイルを踏まえた条件を整理する必要がある。特に仕事をするスタッフと顧客及び居住者の行動を想定し、プライベートな空間とパブリックな空間の使い分けの検討をした。また、打合せの中で土地特有の気候や風土の調査や「まち」への繋がりも検討している(写真5)。



写真5 見学会・ヒアリングの様子(2023年度)

4.おわりに

今回私たちは、実際に美容院のクライアントであり、コーディネーターでもある横浜理容美容専門学校の学生と教育連携プロジェクトを実施するという特別な機会をいただいた。イメージスケッチや模型・CG を活用し可視化することによって、お互いの考えを確認し、対話を行いながら議論することで、一人では、得られなかった学びの発展があった。今回のプロジェクトを通して、分野の垣根を越えた繋がり、共に考えることの楽しさや奥深さを知るきっかけになったことを嬉しく思う。

謝辞 教育連携プロジェクトに参加・ご協力いただいた学生のみなさま、そして企画・実施のご協力をいただいた横浜理容美容専門学校の皆様に厚くお礼申し上げます。